

# aura

nektarine beat composer

## with Nektarine



# 目次

---

<b>概要とクイックスタート</b> .....	<b>3</b>
さあ、始めましょう.....	3
用語解説.....	3
AuraとNektarineの接続.....	3
AuraによるNektarineの操作.....	4
画面表示.....	4
スロットの選択.....	4
<b>ミキサーモード</b> .....	<b>5</b>
<b>パッド設定</b> .....	<b>6</b>
<b>プラグイン</b> .....	<b>8</b>
ホーム画面 - 「Plugin」ボタン.....	8
ドラムプラグインのマッピング.....	8
コントロールページの選択 - 「Menu」ボタン.....	8
パラメーターマッピングとパラメーター名.....	8
<b>パラメーター・ラーン</b> .....	<b>9</b>
<b>FX1とFX2</b> .....	<b>10</b>
<b>パッドのソロとミュート</b> .....	<b>12</b>
<b>ブラウジング</b> .....	<b>13</b>
<b>パッドロック</b> .....	<b>14</b>
<b>Auraを特定のNektarineインスタンスに固定</b> .....	<b>14</b>

## 概要とクイックスタート

Nektarineは、Auraに重要な付加機能をもたらす強力なプラグインホストです。スタンドアロンのアプリケーションとしても、DAWのプラグインとしてもお使い頂けます。VST、VST3およびAU形式のプラグインをAuraから直接コントローラーすることを可能とします。Nektarineには優れたブラウザも用意されているため、マウスを使わず、Auraの操作だけで目的の音色を選ぶことができ、Nektar DAWインテグレーションともベストマッチする設計となっています。

AuraとNektarineの組み合わせで以下の操作が実現します：

- 1つのインスタンス (Nektarine) の中で、最大16のソフトウェア音源と68のエフェクトプラグインを扱うことが可能
- DAWの中で複数のNektarineインスタンスを起動し、Auraでコントロールすることが可能
- Auraのパッド設定をNektarineの設定の一部として保存することが可能 (DAWのプロジェクトの一部、もしくはNektarineのMultiPatchとして)
- Auraによるソフトウェア音源とエフェクトプラグインの操作
- パッドのソロ / ミュートをリアルタイムで操作
- Auraからソフトウェア音源やエフェクトプラグインのプリセットを選択することが可能 (ブラウザ設定が必要)

## さあ、始めましょう

- Nektarineのダウンロードとインストールが完了していない場合は、まず[www.nektartech.com](http://www.nektartech.com)にアクセスし、“MY ACCOUNT”からダウンロード/インストールを行って下さい。未登録の場合、Auraマニュアルに従って、アカウント作成と製品登録を完了して下さい。
- DAWで使用する前に、まずはスタンドアロンモード (単体起動) で操作と設定を行うことを推奨します。Nektarineはインストール後の初回起動時に新しいディレクトリを構築し、データベースの準備をします。このプロセスについては、DAW内で起動するよりもスタンドアロンモードで扱う方が、時間短縮とトラブル回避を期待できます。
- スタンドアロンのNektarineを起動したら、Settings > Preferences > MIDIを開き、AuraのMIDI入力を有効にします。この設定はスタンドアロンモードのみで表示され、プラグインモードではDAWのMIDI設定に従います。
- プラグインモードでNektarineを使用する場合は、インストール直後のDAWの起動時において、プラグインの再スキャンが実行され、Nektarineが正しく認識されているかどうかをご確認ください (Windows環境では特別な設定をしない場合、NektarineはC:\Program Files\Steinberg\VST Pluginsにインストールされます)。
- プラグインモードのNektarineはソフトウェア音源 (インストゥルメント) として認識されます。DAWのインストゥルメントトラックに追加しましょう。
- Nektarineの起動後、Nektarineの“Help”タブから、オンラインマニュアルをご確認頂くことも可能です (英語のみのサービス。日本語の解説は本マニュアルをご参照ください)。

## 用語解説

<b>Plugin slot (プラグインスロット)</b>	Nektarineは1インスタンスにつき、最大で16のソフトウェア音源と68のエフェクトプラグインを扱うことができます。プラグインスロットはプラグインを追加する場所で、1つのスロットにつき、1つのプラグインを割り当てる事が可能です。
<b>ソフトウェア音源/インストゥルメント</b>	音を発するプラグインのことです。メーカーによって呼び名は異なりますが、一般的にソフトウェア音源、ソフトシンセ、バーチャルインストゥルメント、インストゥルメントなどと呼ばれるものがこれに相当します。
<b>Instance (インスタンス)</b>	ほとんどのソフトウェア音源やエフェクトプラグインは、DAWやNektarine等のホストの中で複数同時に扱うことが可能となっています。その1つ1つのことをインスタンスと呼びます。NektarineはPC、DAW、プラグイン規格の許す限り、最大で256インスタンスまで起動が可能です。
<b>Map File (マップファイル)</b>	パラメーターのコントローラーやノートの割り当てのことをマッピングと呼びます。マップファイルは、Nektarineで読み込んだプラグインのパラメーターを、Auraのポットに割り当てるために使用します。その中には、Auraのディスプレイに表示される全てのページのパラメーターと、その名前に関する情報が含まれています。マップファイルはユーザー自身のカスタマイズに対応し、Nektarineの“Control”タブで設定することが可能です。保存したマップファイルはプラグインの読み込みと同時に自動で適用されます。
<b>Patch (パッチ)</b>	設定を保持したファイルのことで、プリセットやプログラムとも言います。Nektarineではプラグインに対して、その全設定とブラウザタグ、レーティングをパッチとして保存します。パッチは、Nektarineのブラウザでインポート、あるいは保存を行って、選択中のスロットにロードすることができます。
<b>Multi Patch (マルチパッチ)</b>	マルチパッチは、Nektarineの設定を保持したファイルのことで、その中には読み込まれているプラグインとその設定、Auraのパッド設定等が含まれています。

## AuraとNektarineの接続

AuraとNektarineが接続されると、Nektarineのヘッダー表示右上のインジケータートと、AuraのNektarineモードボタンが点灯します。



DAWとNektar DAWインテグレーションが有効な場合は、Nektarineが追加されているトラックをDAWで選択すると、自動で有効になります。

DAWインテグレーション非対応のDAWの場合は、Auraの [Mixer] ボタンと [パッド1~16] の組み合わせでDAWトラック上のNektarineコントロールを有効にします。

Nektarineが有効ではない場合、このインジケータートは消灯しています。このインジケータートをクリックすることで接続が有効になります。

## AuraによるNektarineの操作 - クイックスタートガイド

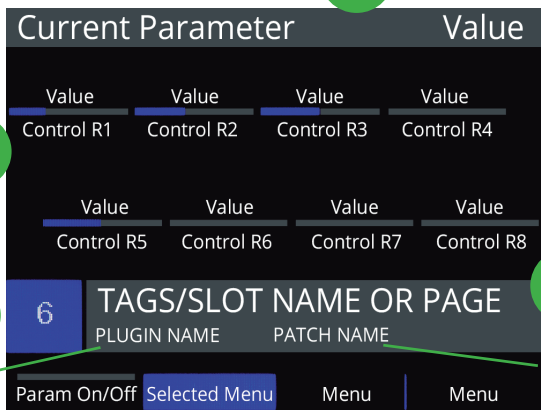
Nektarineのインストールを完了したら、プラグイン検出とAuraとの接続を開始して下さい。以下、Auraシステムに関する簡単な手順です：

1. NektarineをスタンドアロンまたはDAWのプラグインとして起動します。
2. Nektarineが起動したら、インストゥルメントスロット1の“Empty”の箇所をクリックしてソフトウェア音源を開きます。どのプラグインもこの方法で開きます。
3. Auraの[Pad Setup]ボタンを押します。この操作によって、パッドを現在のキットに対して正しい設定にします。
4. Auraのパッドを1つ叩いて選択します。
5. Auraのポット[R1 - MIDI In Note]を動かして、パッドから送信するMIDIノートを設定します。この際、パッドを叩いて設定値を確認できます。
6. 目的の音色、音程を見つけたら、次のパッドを選択して、MIDIノート設定を必要なパッド全てに対して繰り返します。
7. パッドに別のプラグインを割り当てたい場合は、任意のパッドを叩いて選択した後、ディスプレイボタンの[Add Slot]を押します。このことで新しいプラグインスロットが作成され、選択したパッドに割り当てられます。
8. 作成されたスロットにプラグインをロードし、プラグインに希望のノートを送信できるようになるまで上記の手順5と6を繰り返します。
9. 別のパッドをインストゥルメントスロット2に割り当てる場合、パッドを叩いて選択した後、Auraのポット[R3]を回し、“Instrument Slot 2”を選択します。

これらの設定は、後にいつでも呼び出すことが可能なMultipartchとして保存できます。また、プラグインモードでは全ての設定が、DAWのソング/プロジェクトに含まれます。

## 画面表示

Mixer, Pad Setup、あるいはプラグインモードが選択された際、Auraの画面は下記のように表示されます：



The screenshot shows the Aura interface with the following callouts:

- A**: Points to the '6' in the 'TAGS/SLOT NAME OR PAGE' section.
- B**: Points to the 'TAGS/SLOT NAME OR PAGE' section.
- C**: Points to the 'PARAMETER ON/OFF' section.
- D**: Points to the 'Param On/Off' button.
- E**: Points to the 'Control R1' through 'Control R8' section.
- F**: Points to the 'Current Parameter' section.
- G**: Points to the 'Selected Menu' button.
- H**: Points to the 'Menu' buttons.

**A** **パッド番号**：叩いて選択したパッドを示します。(パッドロックしていない場合)表示色はパッドの設定と連動します。

**B** **スロットタグまたはスロット名**：Nektarineのブラウザで選択されたタグを表示します(例えば“Kick Drum”など)。NektarineのTag/Name欄をクリックして、スロットに名前を付けます。

**C** **スロットに読み込まれているパッチ名**：Nektarineブラウザでスロットに設定した音源のパッチ名を表示します。いくつかのプラグインはブラウザに保存されていないパッチ名でも表示します。

**D** **プラグイン名**：設定されているソフトウェア音源の名前を表示します。

**E** **コントロールパラメーター**：Auraのポット[R1~8]と連動し、操作できるパラメーターを表示します。上段が[R1~4]、下段が[R~8]と連動します。

**F** **現在(あるいは直前)に操作したパラメーター**：操作中、もしくは直前まで操作していたパラメーター名と値を表示します。

**G** **パラメーターオン/オフボタン**：ディスプレイボタンのパラメーター名の上端にインジケータが表示された場合、ボタンを押してそのパラメーターのオン/オフが行えます。

**H** **メニューボタン**：インジケータの表示がないディスプレイボタンは、メニュー選択ボタンとして機能します。選択されたメニューは、ボタン全体が彩られます。

## スロットの選択

AuraのNektarineモードで有効となるMixer, Pad Setup, Plugin, FX 1, FX2, Browseには、各プラグインスロットごとに個別の設定が用意されます。これらのモードのいずれかがアクティブな場合、パッドを叩くと、パッドがルーティングされているインストゥルメントスロットが選択されます。

この選択操作と同時にMIDIノートが送られますので、音を聴きながら確認ができます。MIDIノートを送信せずにスロットを選択するには、Auraの[Shift]キーを押しながら[パッド1~16]を選択します。

Auraの[Lock]ボタンが点滅している時は、パッドロック機能が有効になっていますので、パッドの選択操作が無効になります。ロックを解除するには、[Lock]ボタンを押します。



## ミキサーモード [Mixer]

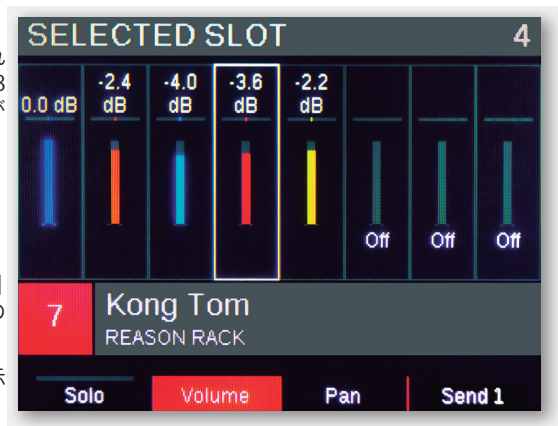
Auraのミキサーモードでは、Nektarineのインストゥルメントスロット・パラメーター（ボリューム、パン、ミュート、ソロ、センド1~4）を扱います。

Auraの[Mixer]ボタンを押すと、右図のように、画面にスロット1~8のボリューム設定が表示されます。音源が設定されていないスロットには“Off”と表示されます。スロットは1~8と9~16の、8つつづつのグループに分割表示され、割り振られたパッドの選択に応じていずれかのグループが表示されます。

### ボリューム - Volume

ミキサーモードのデフォルト表示です。ディスプレイボタン[Volume]が選択され、ポット[R1~8]がスロット1~8（もしくは9~16）は、音量操作として機能します。音量を示すインジケータの色は、パッドの設定色と連動します。

画面上端の“SELECTED SLOT”とスロット外周の白枠表示で、現在選択されているスロットを示します。



### パン - Pan

デフォルトでは、パンは全てセンターに設定されています。ディスプレイボタン[Pan]を押すと、ポット[R1~8]は、スロット1~8（もしくは9~16）のパンコントロールとして機能します。パンの設定を示すインジケータは、ボリューム表示の上に位置し、表示色はパッドの設定色と連動します。

### センド1~4 - Send 1~4

ディスプレイボタン[Send 1]を押すと、パン表示がセンド1への送り量表示に変わり、ポット[R1~8]は、スロット1~8（もしくは9~16）の、センド1へのセンド量調節として機能します。

デフォルト設定は“-inf”（送り無し）で、ポットを時計周りに操作することで、それに依りてスロットの信号がセンド1バスに送られます。

センドバスには通常、ディレイやリバーブなどのエフェクトプラグインを追加します。

ディスプレイボタン4を押すたびに、センド1~4が順番に切り替わり、それぞれのセンドバスにアクセスできます。



### ソロ - Solo

ディスプレイボタン[Solo]を押すと、選択されたスロットの出力をソロモードに設定します。

### ソロ/ミュートボタン - S1~16

Auraのボタン[S1~16]は、現在表示されているスロットグループ（1~8、9~16）のソロとミュートとして機能します。これらのボタン操作で、目的のスロットのソロやミュートを直接操作できます。

ソロとして機能するボタンは緑色、ミュートとして機能するボタンは赤色で淡く点灯し、オンになると強く点灯します。オフのスロットは白色に点灯します。

ソロモードの場合、例えばボタン[S1]を押してスロット1のソロをオンにすると、S1ボタンが緑色に強く点灯します。そして他のボタンは、赤色に点灯する通常のミュート操作と区別するため、黄色に点灯し、ソロモードが有効であることを示します。

ソロモードでは、他のスロットのソロ操作をすると、複数のスロットをソロで確認できます。

ソロモードを解除するには、再度ソロボタンを押します。

ミュートモードでは、ボタン操作したスロットのみがミュートになります。

### ミキサーミュート/ソロとパッドミュート/ソロの違い

ミキサーモードでのソロ/ミュート機能は、プラグインスロットのオーディオストリームに影響を与えるため、ホストされている音源から送信される全てのサウンドをミュートします。一方、パッドのソロ/ミュートモードはMIDIレベル（発音前段）を扱います。詳細は12ページに記載します。

## パッド設定 [Pad Setup]

パッド設定 [Pad Setup] モードでは、パッドのMIDIノート、プレッシャー、LEDカラー等の設定を行います。全ての設定はNektarineのインスタンスの一部として保持されます。したがって、これらの設定はAuraではなく、NektarineのMultiPatch、あるいはDAWのソング/プロジェクトに保存されます。これにより、DAWでソングを開くだけで、Auraのパッド設定はそのソングに合わせて設定されたものが自動で適用されます。

パッド設定モードには3つのメニュー (Drumpads、Scale、Chord) が用意され、それぞれ異なる設定方法が用意されています。

### ドラムパッド - Drumpads

[Drumpads] は、パッド設定モードに入るとデフォルト表示されるメニューです。

このメニューでは、パッドのMIDIノート、プレッシャーによるMIDIコントロール情報、LEDカラーを設定します。

ポット R1~8	設定	概要
1	MIDI入力ノート MIDI In Note	パッドから送信されるMIDIノートを設定します。また、AuraのシーケンサーやDAWから、パッドをトリガーする際のノートとしても使われます。
2	ターゲットノート Target Note	トリガーされたパッドから出力されるMIDIノートを設定します。デフォルト設定では、入力ノートとターゲットノートが一致しています。入力ノートと出力ノートを個別に設定するには、Auraの [Shift] ボタンを押しながら、R1 (入力ノート) もしくはR2 (出力ノート) を操作します。設定を終了したら [Shift] ボタンを離します。 入力と出力ノートを再度リンクさせるには、もう一度 [Shift] ボタンを押しながら、R1 (入力ノート) もしくはR2 (出力ノート) を操作します。
3	スロット Instrument Slot	複数のスロットが作成されている場合に、パッド情報の送信先となるスロットを選択します。
4	パッドカラー Pad Color	パッドのLEDカラーを設定します。操作に従って、リアルタイムに反映されます。
5	ベロシティオフセット Vel Offset	Nektarineから受けたMIDIベロシティにオフセットを設定します。入力ベロシティにこの値を加算した値が、ターゲットノートのベロシティとして出力されます。オフセット値は正負の両方向に設定可能です。 この設定はパッドを叩いた際のベロシティ値には影響しません。
6	ノートディレイ Note Delay	ターゲットノートの出力タイミングを最大500ミリ秒、意図的に遅延させる設定です。 この設定によって、レコーディングされた情報を変えずにノートタイミングを調節することが可能です。
7	プレッシャー メッセージタイプ Pressure Msg Type	パッド演奏で圧感を効かせた際に送信されるMIDI情報 (オフ、MIDI CC#、ピッチベンドアップ/ダウン、アフタータッチ、チャンネル/ポリ) を設定します。
8	プレッシャーデーター	プレッシャーメッセージタイプの設定に応じた値を設定します。オフの場合は機能しません。

### MIDI入力ノートとターゲットノート

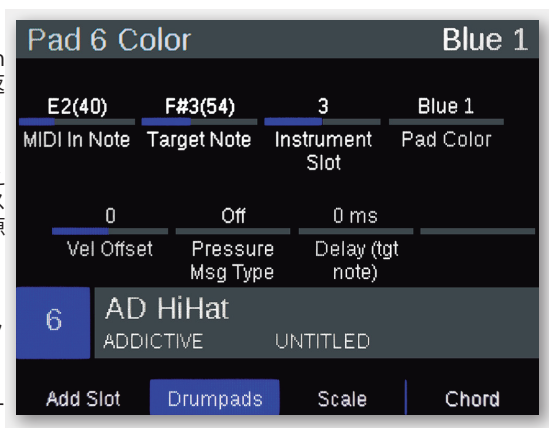
MIDI In NoteとTarget Noteはデフォルトではリンクされています。演奏時、パッドはMIDI In Noteを送信し、そのノートがDAWに記録されます。再生時、DAWはそれをNektarineに送り返し、パッドは同じノートをホストされているプラグインにルーティングします。

ターゲットノートをMIDI入力ノートと異なる設定にする場面として想定されるのは、音源を変えた際にMIDIノートを変更する必要がある時です。これによって、DAWに記録されたシーケンス情報を変えることなく、AuraとNektarineの設定で対応していくことが可能です。結果的に、音源の差し替えといった作業が容易になります。

入力ノートと出力ノートを個別に設定するには、Auraの [Shift] ボタンを押しながら、R1 (入力ノート) もしくはR2 (出力ノート) を操作します。設定を終えたら、[Shift] ボタンを離します。

再度入力と出力ノートをリンクさせるには、もう一度 [Shift] ボタンを押しながら、R1 (入力ノート) もしくはR2 (出力ノート) を操作します。

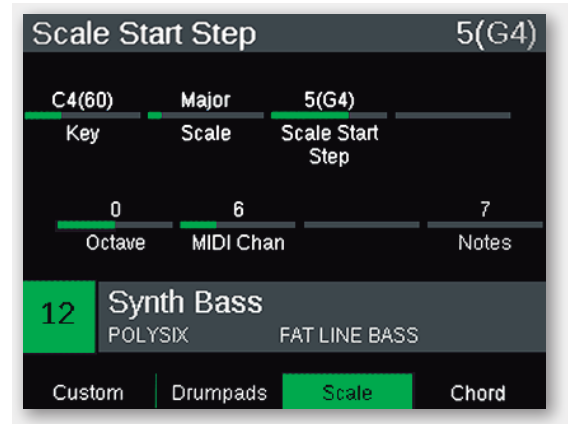
メモ: MIDI入力とターゲットノートを個別に設定した場合、DAWに記録されたノートと、パッド演奏によって発するノートが異なることにご注意下さい。



## スケール [Scale]

[Scale]メニューは、全てのパッドのノート出力を音階に沿って設定するメニューです。Auralは鍵盤の代わりにはなりませんが、このメニュー設定によってメロディーを演奏することが可能になります。また、鍵盤にはない新しい演奏方法や表現をもたらします。

ポット R1~8	設定	概要
1	キー Key	スケールのルート/キーを設定します。R1ポット以外に左右のカーソルボタン(<と>)で設定することも可能です。
2	スケール Scale	スケール(音階)のタイプを選びます。
3	スタートステップ Scale Start Step	パッド1のノートを設定します。スケールノートの中から選択します。
4	設定なし	
5	オクターブ Octave	パッドのオクターブ範囲を変更します。R5ポット以外に上下のカーソルボタン(△と▽)で設定することも可能です。
6	MIDIチャンネル MIDI Channel	スケール演奏時のMIDIチャンネル(1~16)を設定します。この設定は、現在パッドで選択されているスロットにスケールを割り当てる必要がなく、Nektarineを使用しないDAWのトラックの演奏に使用できることを意味します。詳細についてはMIDI Inモードの項目をご参照下さい。
7	設定無し	
8	ノート数 Notes	設定されたスケールのノート数を表示します。この項目は表示のみになります。



スケール設定されたパッドの、色の定義は以下の通り:

赤 = ルートノート(キー)

白 = 鍵盤の白鍵に相当するノート

青 = 鍵盤の黒鍵に相当するノート

## 同じNektarineでスケールとドラムパッドを使用する

デフォルトでは、NektarineのMIDIチャンネル設定はオムニ(Omni)になっています。これはDAWを問わず機能するよう、インストゥルメントスロット1が唯一のスロットとして設定されている場合において、全てのMIDIチャンネルからの全てのノート信号をスロット1で受け取る設計となっているためです(2つ目のスロットを追加した場合、関連するパッドへ入力されるノートは2つ目のスロットにのみルーティングされ、スロット1には送信されないようになっています)。

Pad Setupモードで[Scale]を選択すると、入力されるノートの動作はDrumpadsメニューで設定された状態を引き継ぎます。つまり、この場合はスケール演奏用に別のNektarineを立ち上げたDAWトラックを作成することをお勧めします。

もしもお使いのDAWが複数のMIDIチャンネルを扱える場合、スロットごとに異なるMIDIチャンネルを受けるマルチティンバーモードでNektarineを使用することが可能です。この場合、スロット1がMIDIチャンネル1、スロット2がMIDIチャンネル2...スロット16がMIDIチャンネル16の情報を受信します。

NektarineのMIDI入力モードの設定を変更するには、Settingsタブをクリックして、MIDI In Modeのプルダウンで“Slots receive on 1 MIDI channel each - Omni Off”を選択します。

この設定によって、MIDIスロットは各々のMIDIチャンネルの情報に反応するようになります。例えば、スロットにキーボードサウンドなどの音源を追加して、[Scale]を選択すれば、メロディ演奏をしたり、DAWにそのパートをレコーディングすることが可能になります。そして別のスロットでは、[Drumpads]でドラムやパーカッションサウンドの演奏に使用することができます。

## コード - Chord

[Chord]メニューは、16のパッドそれぞれに最大6ノートまでの和音を設定して、演奏することができます。

設定は以下の手順で行います:

任意のパッドを叩いて選択します。

ポット[R8]でコードの種類(Chord Type)を選択します。

ポット[R1]でコードのルートノート(Root)を選択します。この操作で、コードのトランスポーズやオクターブシフトも行います。

ポット[R2~6]でコードの構成音を個々に変更して、オリジナルの和音やお望みの和音構成に設定できます。

## プラグイン

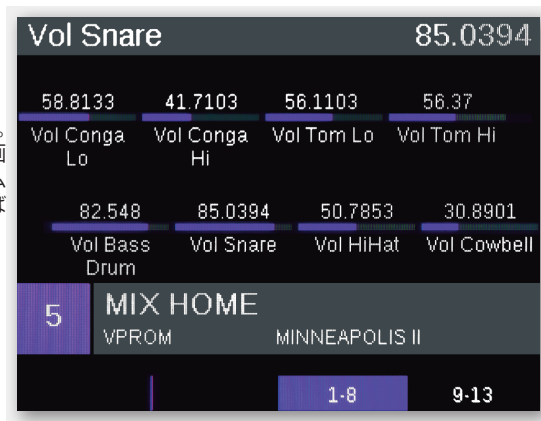
Nektarineの Slots に追加したソフトウェア音源は、Aura のプラグインモードによって操作することが可能です。Nektar Map ファイルによって、プラグインのパラメーターがページに定義され、Aura のコントローラーに割り振られます。Aura はドラム/パーカッションのために設計されたコントローラーですが、音源の種類に関わらず、Nektarine を介することで効率的なパラメーター操作が可能です。

### ホーム画面 - [Plugin] ボタン

Aura の [Plugin] ボタンを押すと、現在選択されているプラグインのホーム画面が表示されます。その後の操作による画面切り替えに関わらず、このボタンを押すことで、常に最初のホーム画面に戻ります。ホーム画面には、一般的によく使用されるパラメーターが配置されます。ドラムキットの場合はミキシングパラメーターであったり、シンセサイザーやキーボード音源であればフィルターなどがこの画面に用意されますが、その限りではありません。

この画面でのパラメーター構成が意にそぐわない場合、自由に変更することも可能です。

右図は Aly James Labs のドラムマシン音源: VPROM のホーム画面例になります。



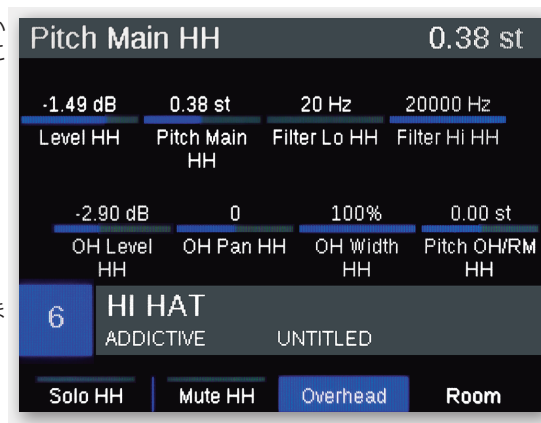
### ドラムプラグインのマッピング

Nektarine には多くのメジャードラム音源のパラメーターマッピングがあらかじめ用意されています。パッドを叩けばそれに応じたパラメーターが自動で表示され、即座にポットで操作することが可能です。音を発しながら調整するというワークフローにおいて、効率が上がるでしょう。これらの操作は DAW に記録することも可能です。

右図はパッド6に割り当てられたハイハットサウンドの操作画面になります。

その他の設定や詳細情報については、Nektarine Help ページに記載しています。

Aura はビート作成と同様に、プラグインコントロールに対しても重点を置いた設計となっています。もし、Aura でご愛用のプラグインの使い勝手が良くないと感じられた場合は、[aura@nektartech.com](mailto:aura@nektartech.com) までフィードバックをお送りください。



### コントロールページの選択 - [Menu] ボタン

パラメーターページの切り替えは、[Menu] ボタンを使用します。ボタンを押した後、ポット [R1 または 8] のいずれかを操作して、表示されたメニューから目的のページを選択します。選択後、少し間隔をおくとページが自動で切り替わります。ドラムサウンドにシンセサイザーを使用する場合等には、この方法でパラメーターにアクセスするのが良いでしょう。

この状態で別のモード、例えば [Mixer] 画面に移動した場合、再度 [Plugin] ボタンを押せば、最後に選択されたページに戻ります。戻った後に再度 [Plugin] ボタンを押すと、プラグインモードのホーム画面に戻ります。

多くの場合、さらにサブページが用意されていることがあります。例えば、大抵のシンセサイザーのオシレーターパラメーターは8つ以上存在します。したがって、そのような項目に対しては複数のサブページが用意されます。サブページへのアクセスは、ディスプレイボタンを使用します。ディスプレイボタンを押すことで、その項目に用意されているサブページを順番に切り替えられます。

パラメーターマッピングとアクセスに関する詳細情報については、Nektarine Help ページに記載しています。



### パラメーターマッピングとパラメーター名

画面上のパラメーターコントロールを管理(変更)する際、最も重要なことは Aura の画面上でパラメーター名が明確に確認できることです。どのページにどのパラメーターを置くのか、その Aura 上での名称をどう設定するのかは、Nektarine の "Control" タブで行うことができます。

このことに関する詳細情報は、Nektarine Help ページに記載しています。

パラメーター・ラーン(割り当て)については次項目で解説します。



## パラメーター・ラーン

Nektarineのコントロール設定(パラメーターの配置)を変更するには、“Learn”(学習)機能を使用するのが最も簡単な方法です。

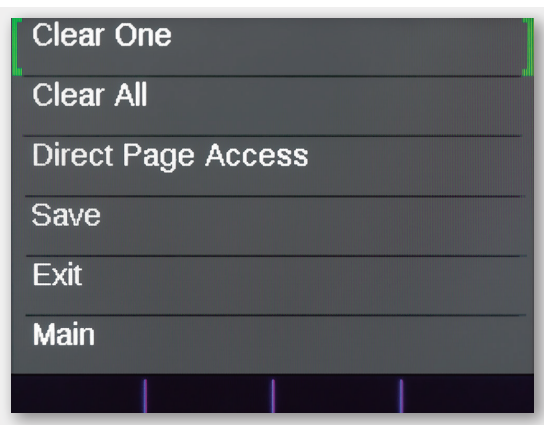
以下、ホーム画面をお好みで変更する例をご紹介します：

- まず、Auraがプラグインモードになっていることをご確認ください。プラグインモードでない場合は [Plugin] ボタンを押して、Auraでそのプラグインを正しく操作できる状態にします。
- [Menu] ボタンまたはNektarineの“Control”画面右端の一覧で、配置変更をするパラメーターのページにアクセスします。
- Auraの [Shift] と [Menu] ボタンを同時に押し、Nektarineの“Learn”機能を有効にします。Auraの画面上端の箇所には“LEARN MODE ON”と表示されます。
- Nektarineに表示されているプラグイン画面で、目的のパラメーターを動かします。
- 以上で、動かしたパラメーターがAuraに割り当てられました。

必要に応じ、上記の2番目と3番目の手順を繰り返して、任意のパラメーターを割り当てます。

“Learn”モードにおいて、[Menu] ボタンを押し、ポット [R1または8] で上方向にスクロールさせると、以下のメニューが表示されます：

<b>Clear One (クリアワン)</b>	このメニューを選択し、画面が閉じるのを待つと、操作したパラメーターの割り当てが消去されます。
<b>Clear All (クリアオール)</b>	このメニューを選択し、画面が閉じるのを待つと、表示ページの全パラメーター割り当てが消去されます。
<b>Direct Page Access (ダイレクトページアクセス)</b>	Auraではこの機能を使用しません。
<b>Save (保存)</b>	マッピングファイルを保存します。 この操作はNektarineの“Control”タブでも行えます。



保存されたユーザーマッピングファイルは、Documents (書類) \Nektar\Nektarine\Mapping Files\Instruments に保存されます。

ユーザー設定ファイルを削除すると、そのプラグインに再びNektarが用意したファクトリー設定が適用されます。



## エフェクト1と2 (FX1とFX2)

Nektarineには2つのエフェクトバス (FX1とFX2) が設けられています。エフェクトプラグインへのアクセスは、音源を扱う際の [Plugin] ボタン操作と同様の手順で行います。専用の [FX] ボタンが2つ用意されているため、エフェクトバスに設けられた4つのインサート、もしくは4つのセンドエフェクトスロットへのアクセスが柔軟に行えます。

以下、エフェクトバスの定義になります：

- [FX1] はインサートエフェクトを扱い、[FX2] はセンドエフェクトを扱います (デフォルト設定)。
- [FX1] も [FX2] もそれぞれ個別のインサートエフェクトを扱うことができます。
- [FX1] も [FX2] もそれぞれ個別のセンドエフェクトを扱うことができます。

### インサート/センドエフェクトスロットの選択

[FX1] ボタンを押すと、以下のいずれかの状態になります：

1. 選択されているスロットにプラグインが追加されていない場合、右図のようなオーバービューが表示されます。
  2. 選択されているスロットにプラグインが追加されている場合、プラグインの操作画面が表示されます。この際、[FX 1] ボタンをもう一度押すと、右図の一覧表示になります。
- エフェクトスロットのオーバービューが表示されている場合、ディスプレイボタンで、インサート [Insert] とセンド [Sends] の切り替えができます。
  - ポット [R1または8] で画面の緑枠を動かして、対象スロットの選択ができます。
  - ディスプレイボタンの [Edit] もしくは [Select] で選択されたエフェクトスロットを選びます。

ブラウザにエフェクトパッチ (プリセット) を保存済みの場合、[Browse] ボタンを押すことで、選択したスロットにプラグインをロードできます。



### カーソルキーを使用したプラグインスロットの選択

[FX1または2] ボタンが押されている状態で、左右上下4つのカーソルキーを使用して、エフェクトスロットの選択が可能です。左右上下のボタンで、それぞれエフェクトスロットの1~4を直接選択します。

- スロットが空の場合、対象のボタンのLEDは消灯状態になります。
- プラグインがスロットに追加されている状態で未選択の場合、ボタンは白色に点灯します。
- 選択されたスロットは青色に点灯します。



上記の画像では、スロット1、2、3にプラグインが追加されていて、スロット2が選択されています。スロット4は空の状態を示します。

### エフェクトコントロール有効時のインストゥルメントスロット選択

[FX1または2] メニューのまま、パッドを使用してインストゥルメントスロットを切り替えることが可能です。

この操作によって、追加されている各音源に対してのエフェクトに関する操作がシンプルに行えます。

音源の選択を切り替える際、MIDIノートの発信を防ぐには、[Shift] ボタンを押しながら [パッド1~16] を叩きます。

## エフェクトスロットのバイパス、オン/オフ、オートメーションと削除

エフェクトスロットは、オーバービュー画面でバイパスすることができます。ポット [R1 または 8] を使用して選択したスロットに対して、ディスプレイボタンの [Bypass] を押すことで、目的のエフェクトを一時的に無効にできます。

[Menu] ボタンで以下の設定にアクセスします：

- On/Off (オン/オフ) : 選択スロットをオンまたはオフにします。
- Automation (オートメーション) : 選択スロットのパラメーターオートメーションを有効または無効にします。
- Clear (クリア) : 選択されたスロットのプラグインを削除します。

設定メニューを終了するには再度 [Menu] ボタンを押します。

## プラグインコントロール

エフェクトスロットを選択すると、Auraの画面にそのコントロール画面が表示され、音源パラメーターと同様にエフェクトパラメーターの操作をAuraで行うことが可能です。

マッピング済みのエフェクトプラグインを選択した場合、重要なパラメーターは1つの画面に集約され、その他のパラメーターはサブページからアクセスが可能です。

右図はWavesのAbbey Load ChamberプラグインをAuraの画面で表示した例です。右端のディスプレイボタン：[S..T.E.E] を押すことで、残りのパラメーターへアクセスできます。

音源プラグインと同様、多くのパラメーターを持つエフェクトプラグインの場合、[Menu] ボタン操作で、セクション分けされたページからパラメーターへアクセスします。



## パラメーターマッピング

エフェクトプラグインは、ソフトウェア音源プラグインと同様に、パラメーターの配置を変えることが可能です。

詳細は9ページをご覧ください。

## パッドのソロとミュート

[SOLO]モードをオンにすると、パッドの操作で各パッドをソロに設定することができます。この機能は、DAWに演奏を記録する際や、Auraのシーケンサーでパターンプログラミングを行う際に便利でしょう。ソロ機能を使用すると、特定のパートのみを再生して確認することが可能です。

1つのパッドのみをソロにした場合、残りの15個のパッドはミュートされます。複数のパッドを同時にソロに設定することも可能です。ソロを解除すると、再びビート全体が再生されます。

操作手順は以下の通りです：

- DAW、あるいはAuraのステップシーケンサーで、音源を設定済みのNektarineを再生します。
- Auraの[SOLO]ボタンを押して、ソロモードを有効にします。この際、全パッドは白色に点灯し、ソロ解除されている状態を示します。
- ソロ再生にしたいパッドを叩きます。ソロに設定されたパッドは緑色に点灯し、ミュートされたパッドは黄色に点灯します。
- 複数のパッドをソロにする場合は、目的のパッドをさらに叩きます。
- 特定のパッドのソロ解除は、そのパッドを再度叩きます。
- [PLUGIN]など、他のNektarineモードに切り替えることでソロモードから離れられます。この際、ソロに設定されているパッドは明るく、ミュート状態のパッドは淡い(DIM状態の)LEDカラーで点灯し、ソロ設定の状態を示します。

## パッドミュート

[MUTE]ボタンを押すことで、個々のパッドをミュートに設定するモードに入ります。パッドミュートモードは、パッドソロモードと同様に、叩いたパッドがミュートされ、赤色の点灯でそのことが示されます。ミュートされたパッドはソロとミュート、いずれのモードでもその状況を確認できます。

## ミュート済みのパッドのソロ

パッドソロモードの設定は、パッドミュートモードの設定より、一時的に優先されます。従いまして、ミュートモードでミュート設定したパッドをソロモードで叩くと、そのパッドはソロ再生になります。

## クイックソロとミュート

パッドのソロ／ミュートの設定を変更してから、素早く元のモードに戻ることが可能です。

方法は以下の通りです：

- [SOLO]もしくは[MUTE]ボタンを押さえたまま、ミュートまたはソロに設定したい[パッド1~16]を叩きます。
- 設定後、押さえたままにした[SOLO]もしくは[MUTE]ボタンを離せば、元々選択されていたモードに戻ります。

## ブラウジング

Auraから、タグの選択、パッチやマルチパッチの読み込みを含めた、Nektarineのブラウザを操作可能です。この機能は大変強力ですが、あらかじめブラウザを正しく設定しておく必要があります。以下、いくつかのヒントを交えて、ご自身のシステムの最適化について解説します：

- 全てのプラグインに対して、最低でも1つのパッチ(プリセット)を取り込み(Import)、または作成保存(Save)しておいて下さい。Nektarineのブラウザはパッチを用いてプラグインを追加するため、この作業は必ず必要です。
- パッチとプラグインをタグ(Tag)付けすることをお勧めします。このことによって、ソフトウェア音源でもエフェクトプラグインでも、タグによってグループ分けされ、目的のプラグインとパッチをより素早くかつ的確に見つけることが可能になります。例えば、Reverb、EQ、Delayプラグインなどはカテゴリー(Category)をタグ付けすることで、簡単に見つけられるようになります。
- Nektarineのブラウザは、数多のパッチを追加しても、正しいタグ付けさえしていれば、パッチを探し出すことも簡単に行える設計となっています。

Nektarineのブラウザに関する詳細については、Nektarine Helpページをご覧ください。

### パッチ/マルチを開く

Nektarineのブラウザで任意のパッチを作成したら、Aura本体からの呼び出しが可能になります。

操作手順は以下の通りです：

- Auraの[BROWSE]ボタンを押して、ブラウザモードに入ります。Nektarineブラウザが開き、パッチの一覧が表示されます。ディスプレイボタンの[Patch]が彩られ、表示がパッチ一覧であることを示します。
- ポット[R1または8]でパッチ一覧から目的のパッチを選択します。選択されているパッチは、パッチ名の両端が[Patch]ボタンと同じ色の[]で示されます。
- ディスプレイボタン[Load]を押すことで、選択されたパッチとプラグインが選択スロットに読み込まれます。
- 別のスロットが割り当てられているパッドを叩いて選択した後、上記の2つの手順に従います。
- エフェクトスロットの場合は、[FX 1]もしくは[FX 2]ボタンでエフェクトモードに入った後、スロットを選択した上で、[BROWSE]ボタンを押し、エフェクトプラグインパッチの読み込みをします。

マルチパッチを読み込む場合はディスプレイボタンの[Multi]を押して、上記の手順と同様に一覧から選択して開きます。

### タグ - Tags

Nektarineブラウザのパッチライブラリーが充実するに従って、タグの重要性が増します。

Nektarineで設定したタグは、Auraにも反映され、Auraの画面でタグを操作すると、パッチ選択のフローが飛躍的に快適なものとなります。

操作手順は以下の通りです：

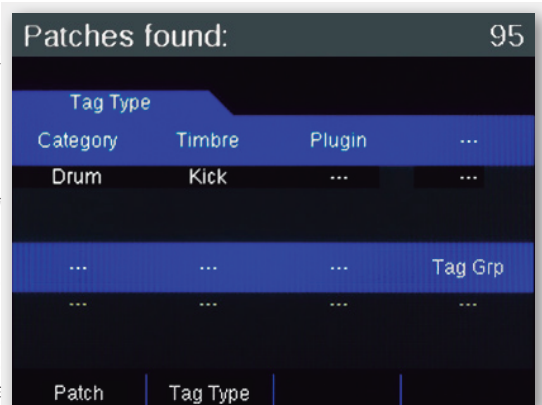
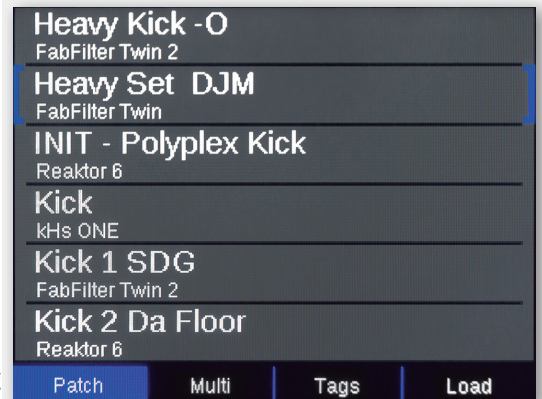
- ディスプレイボタンの[Tag]を押して、有効タグの表示と設定画面に切り替えます。
- ポット[R1]でプラグイン(Plugin)を特定します。使用するプラグインが決まっている場合は、このタグを使用して特定のプラグインパッチのみを表示させることができます。そうではない場合は、オフ(...)を選択しましょう。
- ポット[R2]でプラグインの種類(Category)を設定します。このタグで、表示をプラグインの特定の種類のみに限定できます。
- Nektarineブラウザには、7種類のタググループが用意されています。ディスプレイボタンの[Tag Type]を押したまま、ポット[R1~7]を操作すると、当該ポットでどんなタグを扱うのかを設定することができます。タグの種類を設定後、[Tag Type]ボタンを離せば、タグ操作が可能になります。
- より多くの種類のタグ操作を設定することで、パッチ表示の内容をより細かく限定することが可能になります。

### タググループ

前項の通り、Nektarineブラウザの7種類のタグは、Auraのポット[R1~7]で自由に割り当てて、操作することが可能ですが、[R8]はタググループ(Tag Groupe)の操作に固定されています。タグとタググループに関する詳細は、Nektarine Helpページに記載されています。

### 次のパッチと前のパッチへの切り替え

上下のカーソルボタン([▽]と[△])で、現在開いているパッチをリストの1つ次、もしくは1つ前に切り替えることが可能です。この際、パッチによってはサンプルの読み込み時間が必要になる場合があることにご注意ください。



## パッドとインスタンスロック

---

### パッドロック - Pad Lock

Auraのメニュー（ミキサー、パッド設定、FX1と2、ブラウザなど）は、全て選択されたパッドに合わせて随時更新されますが、パッドによる自動選択を一時的にやめ、演奏中に画面表示を固定させることも可能です。

- [Lock] ボタン押すことで、画面を現在選択中のパッドに応じた内容に固定します。ロック中、[Lock] ボタンは点滅します。
- 再度 [Lock] ボタンを押すことで、ロックが解除されます。

### Auraを特定のNektarineインスタンスに固定

Auraの画面は、特定のNektarineインスタンスに固定することが可能です。固定することで、Nektarインテグレーション対応のDAWでトラックを変更しても、特定のNektarineを操作し続けることが可能になります。

- [Shift] と [Lock] ボタンを押すことで、画面を現在選択中のNektarineインスタンスに固定します。

ロック中、[Lock] ボタンは赤く点灯します。パッドロックも同時に行うことが可能です。この際、[Lock] ボタンは赤白に点滅します。



[www.hookup.co.jp](http://www.hookup.co.jp)

**HOOK UP, INC.**

日本総輸入代理店株式会社フックアップ  
Designed by Nektar Technology, Inc  
Made in China

**nektar**